

今何をすべきか

2月14日、「学校教育法施行規則の一部を改正する省令案等について」が公表され、パブリックコメントに付された。

規則第52条に基づき、幼稚園、小学校、中学校の学習指導要領案が示された。

内容等はすでにマスコミ等で示されているので、ここでは省略する。

さて、今年度残りというか答申まで1ヶ月になったが、何をしておくことが必要なのだろうか。

例年すべきことは、指導計画にある内容を確実に完了させること、（そうしないと学習指導要領違反になる）次年度の評価計画を含めた指導計画を修正すること、理科教員なら教材の点検や修理や補充等があるだろう。

今は学習指導要領案が出ている状況なので、行政による指示はないにしろ、自主研修を兼ねて学習指導要領案が求める視点で指導計画の見直しをすることは大変有意義なことである。

まだ解説が出ていないので、詳細は不要であるが、特に次のことが考えられるだろう。

- 1 各単元における、何ができるようになるか、を明確にする
- 2 主体的で、対話的で、深い学びを単元のどこで何を学ぶためか、を明確にする
- 3 一部の教科では、プログラミング思考の内容をどこで指導することができるかを、考えておく
- 4 1～3を実際に運用できるかマネジメントする

であろう。

また、小学校の先生は、英語になれておくこと。

私は、NHKラジオの「基礎英語1」でいいと考えている。内容は十分理解できているので、

- ①耳を慣らすこと
- ②口の筋肉をほぐして喋ること
- ③番組構成（教え方）を研究すること

である。

CDも売っているので、1ヶ月で1年分聞くこともできるだろう。

忙しいですね。

しかし、書類をつくるのではなく、赤ペンを入れたり、聞き流すことでいいのである。

やってみよう。

ちょっと違った4月、新年度になると思う。